

当院に脳梗塞のため入院による治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を研究のために解析してまとめるものです。研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報は本研究には利用せず、それ以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2010年1月～2021年12月の間に、糖尿病をお持ちで脳梗塞で入院し、治療を受けた方

【研究課題名】メトホルミンによる脳梗塞後の神経保護作用の検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部頼都

【研究の目的・意義】

糖尿病の治療に使用される経口糖尿病治療薬であるメトホルミンは、脳梗塞後の神経保護作用を示す可能性があります。本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、入院前から内服していたメトホルミンと脳梗塞の症状の重症度・予後との関連を明らかにすることを目的としています。

【利用する診療情報等】

年齢、性別、脳梗塞の種類（アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、分枝粥腫型脳梗塞）、発症時期、入院期間、脳梗塞の症状の重症度（modified Rankin Scale、National Institutes of Health Stroke Scale）、血圧、体温、肥満度指数（BMI）、血液検査、危険因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、閉塞性動脈疾患の既往、脳梗塞・脳出血の既往）、嗜好（喫煙、飲酒）、内服薬、病変部位、治療法、再発の有無、頭部画像所見。

【情報の管理責任者】

①提供を行う機関：国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

②提供を受ける機関：新潟大学脳研究所脳神経内科 准教授 金澤雅人（機関の長：学長 牛木 辰男）

【研究の実施体制】

この研究は、他機関と共同で実施します。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

新潟大学脳研究所脳神経内科 准教授 金澤雅人

共同研究機関・研究責任者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部頼都

また、本研究で収集した情報を、下記の機関に提供し、解析を行います。研究で得られたデータを提供する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人を直接特定できないようにします。

機関名：新潟大学脳研究所

研究責任者：脳神経内科 准教授 金澤雅人

提供方法：電子的配信（パスワードロックを行います。）

【研究期間】研究許可日より2024年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部頼都

電話 06-6170-1070